

第5次防府市男女共同参画推進計画 総合評価

【 第5次防府市男女共同参画推進計画の指標結果 】

基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

重点項目1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
男女の平等感(平等と感じる人の割合)〔政治経済活動の中で〕	23.0%	20.6%	12.9%		審議会等への女性の積極的な登用については、選任にあたり団体への働きかけをしているものの、目標35%に対し、30%程度と横ばい状態で、最終目標の達成には至っていない状況である。引き続き、市が率先して、審議会等への女性の登用に取り組み、施策や方針決定過程への女性の参画を推進する。
審議会等の女性委員の割合	35.0%	28.9%	30.1%		
女性委員のいない審議会等数	0	9	7		
市職員の管理職に占める女性の割合	15.0%	8.8%	18.0%	達成	
消防本部における女性消防吏員の割合	4.0%	2.1%	3.5%		

重点項目2 働く場における環境整備

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
男女の平等感(平等と感じる人の割合)〔就職の機会や職場の中で〕	27.0%	24.9%	27.2%	達成	男性に比べ女性の方が非正規雇用の割合が高く、男女間の賃金格差の一因にもなっている現状がある。女性や高齢者の就労相談窓口を設置し、本人の希望に寄り添った就労支援を行う。また、誰もが働きやすい環境づくりのため、国・県と連携し企業に情報提供を行う。
「ほうふ女性しごと応援テラス」相談の就職決定数	50人	－	－	－	
「ほうふ幸せます働き方推進企業認定制度」に基づく認定累計数	200社	－	95社	－	
家族経営協定文書締結結果計数	18件	13件	14件		

重点項目3 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
男女の平等感(平等と感じる人の割合)〔家庭生活の中で〕	38.0%	36.3%	38.6%	達成	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向け、多様な選択を可能とする子育てや介護支援の充実を図っている。男女が共に仕事と子育て・介護を両立できるよう、支援サービスを充実させることが重要となるため、各種支援サービスの充実と広報に取り組む。
男女の平等感(平等と感じる人の割合)〔地域活動の中で〕	47.0%	44.4%	40.6%		
一時保育事業利用者数	3,600人	3,802人	2,268人		
留守家庭児童学級利用者数	1,110人	1,013人	1,204人	達成	
ファミリーサポート利用件数	2,500件	2,140件	1,154件		
「安心して子どもを育てられる支援や保育サービスが充実している」と思う市民の割合	65.0%	48.0%	52.0%		

【 第5次防府市男女共同参画推進計画の指標結果 】

基本目標Ⅱ 男女が健康で安全・安心に暮らせる社会づくり

重点項目4 こころとからだの健康支援

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
各種がん検診の受診数					一人ひとりが適切に自己管理を行うことができるよう、健康づくり、健康相談、健康診査を推進している。一定の成果はあるが、乳がん・子宮がんの検診率が低下の傾向にある。 医療機関での検診を進めるほか、休日や平日夜間の検診を行うなど、受診しやすい環境を整えていく。
・乳がん	2,200人	2,079人	1,770人	↘	
・子宮がん	3,750人	3,603人	3,455人	↘	
ゲートキーパーの養成講座受講者数	700人	506人	1,362人	達成	

重点項目5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
夫婦間の暴力の認識[次の行為がDVにあたると思う人の割合]					相談窓口を設置し、DV被害に対して関係機関と連携して支援を行っている。DV相談件数は増加しているため、若年層に対し、暴力を許さない意識啓発を推進する。 また、相談窓口についても、各種媒体などを活用し、広く行き渡る周知を行う。
・電話・メールを細かく監視する	60.0%	48.70%	62.4%	達成	
・長時間無視し続ける	50.0%	42.4%	56.4%	達成	
・大声でどなる	55.0%	50.6%	68.1%	達成	
DV被害経験者で『どこ(誰)にも相談しなかった』と回答する人の割合	50.0%	55.7%	58.4%	↘	
市 社会福祉課の相談窓口の認知度[知っている人の割合]	50.0%	30.5%	27.3%	↘	

重点項目6 みんながいきいき暮らせる条件の整備

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
認知症サポーター数	8,000人	4,284人	6,469人	↗	生活上の困難をかかえやすい高齢者、障害のある人、ひとり親家庭等、誰もが安心して暮らせる社会づくりのため、支援サービスや相談を行っている。 関係計画を含め、必要な支援や施策の着実な推進を図る。
地域包括支援センター 相談件数	42,500件	38,174件	34,658件	↘	
母子・父子自立支援員 相談件数	800件	777件	1,273件	達成	
養育支援の延べ人数	700人	574人	464人	↘	
「高齢者が安心して暮らせる支援や介護サービスが充実している」と思う市民の割合	60.0%	48.0%	50.0%	↗	
「障害者に配慮したバリアフリーの施設が整っている」と思う市民の割合	50.0%	39.0%	36.0%	↘	

【 第5次防府市男女共同参画推進計画の指標結果 】

基本目標Ⅲ 男女共同参画社会への基盤の整備

重点項目7 男女の人権の尊重

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
男女の平等感(平等と感じる人の割合)[社会全体として]	25.0%	19.5%	14.8%		人権を尊重する意識の普及啓発のため、研修会や啓発講座を行っていく。 男女共同参画の必要性について、市民一人ひとりが認識し、理解できるよう分かりやすい意識啓発や広報活動を推進する。
男女の平等感(平等と感じる人の割合)[学校教育の場で]	59.0%	56.4%	58.4%		
「男女共同参画社会」という用語の認知度(意味まで知っている人の割合)	69.0%	64.5%	29.4%	調査方法 変更	

重点項目8 男女共同参画の視点に立った意識の改革

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
男女の平等感(平等と感じる人の割合)[法律や制度の面で]	41.0%	39.7%	30.0%		性別による固定的役割分担意識は未だ根強く残っており、解消には根気よく啓発を続ける必要がある。家庭生活における男女の協力を進めるために、夫婦や家族間での役割分担についてコミュニケーションを促進する必要がある。 また、男性自身が家事や育児・介護への参画意識を高めるとともに、男性による家事や育児・介護が社会で評価されるよう社会制度や慣行の見直しへの意識づくりのための広報や啓発講座を引き続き行う。
男女の平等感(平等と感じる人の割合)[社会通念・慣習・しきたりなどで]	19.0%	13.0%	13.9%		
性別による固定的な役割分担意識の改革 「男性は仕事、女性は家庭」という考えを肯定する人の割合	31.0%	39.3%	27.9%		
市の男性職員の育児休業取得率	13.0%	1.51%	22.7%	達成	

重点項目9 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
『ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」』登録者の派遣回数	100件	69件	194件	達成	学校や保育所等においては、性別にとらわれない個性や能力を伸ばす教育の推進を行っており、若年層での意識には変化が見られる。 様々な機会を通じ、家庭、学校、職場、地域社会のあらゆる分野における教育・学習を充実させていく。
放課後子ども教室の設置数	15か所	14か所	13か所		
「生涯を通じて、いつでも、どこでも学べる環境が整っている」と思う市民の割合	60.0%	46.0%	43.0%		

重点項目10 国際交流と国際協力を通じた男女共同参画の促進

項 目	R4年度 目標値	H28年度 調査値	現状値	【評価】	
「国際交流が進み外国(人)への理解が深まっている」と思う市民の割合	35.0%	25.0%	29.0%		新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できない事業が多くあったが、ホストタウン推進事業等を通して市民の国際理解が深まった。男女共同参画の視点に立って、国際交流・国際協力を促進するため、交流活動への協力・支援を行う事が必要。

< 現状値 >

令和4年度実績/防府市男女共同参画に関する市民意識調査(令和3年9月実施)/市民満足度指標は市民意識調査値(平成31年3月)